



**OWS**  
Research and Education  
Non-profit organization  
The Oceanic  
Wildlife Society

# REPORT 2021

2020.04~2021.03

特定非営利活動法人 OWS  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シヤトレー代々木704



写真：高砂淳二

## 沿革

- 1998年 11月●OWS創立総会開催 渋谷区恵比寿に事務局を設置
- 1999年 02月●北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁に現地事務所設置  
06月●ミクロネシア・パラオに現地事務所設置  
09月●東京都NPO法人の認証取得
- 2000年 02月●各種会員の募集開始  
03月●会報「季刊エブオブ」創刊  
08月●公式ホームページ開設
- 2001年 02月●OWS会長にジャック・T・モイヤー氏、副会長に倉田洋二氏  
就任  
06月●「ネイチャースクール(自然体験プログラム)」開始
- 2002年 01月●「OWSネイチャーガイド養成コース」開始  
04月●「アングウル州立自然公園プロジェクト」開始  
09月●事務局を目黒区下目黒に移転  
10月●「海のセミナー」開始
- 2003年 06月●「水中ゴミ調査」開始  
09月●アングウル州立自然公園ビジターセンターオープン  
11月●「海のトークセッション」開始
- 2004年 01月●ジャック・T・モイヤー会長逝去  
05月●長谷川博氏(東邦大学理学部教授)、OWS会長就任  
06月●「海辺の自然教室」開始
- 2005年 09月●インド洋クリスマス島においてボランティアプログラム開始  
10月●事務局を豊島区雑司が谷に移転
- 2006年 01月●メンバーによる各活動の実行委員会を設置、運営開始
- 2007年 07月●「OWS 5人の写真展(巡回写真展)」開始
- 2008年 03月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」開始  
05月●「砂浜海岸生物調査」開始
- 2009年 08月●「北限域の造礁サンゴ分布調査プロジェクト」探索調査開始  
09月●「ネイチャースクール 日帰りプログラム」開始
- 2010年 03月●「造礁サンゴフィールド図鑑～伊豆・三浦・房総編発行  
05月●「海辺のナチュラリスト講座」開始
- 2011年 04月●東日本大震災 被災地支援活動開始  
06月●ミッドウェー環礁調査ツアー実施
- 2012年 06月●「江奈湾干潟保全活動」開始  
06月●「未来に残したい海」プロジェクト・自然観察&カメラ教室開始  
12月●子どもフォトコンテスト開始
- 2013年 04月●江奈湾・毘沙門湾干潟生物調査開始00  
07月●海洋ゴミ企画展開始  
11月●事務局を渋谷区千駄ヶ谷に移転
- 2015年 04月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での造礁  
サンゴモニタリング調査 開始・新「サンゴ調査プロジェクト」開始
- 2017年 10月●国立環境研究所の業務委託を受け、全国10海域での魚類調査  
開始
- 2018年 09月●OWS創立20周年と国際サンゴ礁年の特別イベントとして、  
「海のセミナー2018 海の話・サンゴの話」を開催
- 2019年 10月●秋山彰男顧問逝去  
11月●倉田洋二副会長逝去
- 2021年 02月●WEBサイトリニューアル、主要な活動を4プロジェクトに統合

## 組織概要

名称	OWS(オーダブリュエス) (OWSという名称は The Oceanic Wildlife Society (英語表記) の頭文字からとられたものです)		
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-13 シャトレー代々木704 TEL: 03-6432-9917 FAX: 03-5960-3546 URL: <a href="https://www.ows-npo.org/">https://www.ows-npo.org/</a> E-mail: <a href="mailto:info@ows-npo.org">info@ows-npo.org</a>		
目的	OWSは、国内外の海洋域における自然環境及び生物とその生態系について、科学的な調査及び研究を行い、その結果得られた情報及び成果の有用な活用とその自然環境の維持・保全を目的とした活動をもって、地域社会に貢献するとともに、環境保護意識の普及を図ることを目的とする。		
役員	会長	長谷川 博	東邦大学理学部名誉教授
	代表理事	横山 耕作	
	副代表理事	高砂 淳二	
	理事	森 紀子	
	理事	宮川 貴子	
	理事	杉森 雄幸	
	理事	池上 喜代壺	
	監査役	吉岡 宏治	
	法律顧問	矢田 誠	新麻布法律事務所 弁護士

## 2020年度の活動実績

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
自然体験学習事業	コロナ感染拡大により全プログラムを中止 (スタッフ研修のみ実施)	8月	神奈川	13,000
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」発行 学習教材パネル(海洋ごみの写真パネル)の貸出 海洋ごみ写真企画展「海洋ごみを考える」の開催 小中高生・海の生き物フォトコンテスト開催(中止) 海洋ごみ問題をテーマとした講演 「世界アルバトロスデー&シーバードウィーク」実行委員会に参加(OWSが事務局を担当) 「減プラスチックNGOネットワーク」に参加	年4回 随時 3月 7~10月 1月 10~3月 4~3月	全国 全国 東京 全国 東京 全国 全国	700,000
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査・魚類調査実施 (国立環境研究所受託) 長崎県五島市 オオスリバチサンゴ調査協力	10~3月 3月	全国 長崎	4,748,000
環境保全協力事業	江奈湾干潟観察会 2回開催(ごみ回収活動は中止) 江奈湾干潟生物調査の実施 和歌山県那智勝浦町ゆかし潟調査の実施 静岡県御前崎干潟・勝俣川河口干潟調査の実施 全国多毛類調査への協力(全国7海岸)	6月 9月 7月 7月 6月~12月	神奈川 神奈川 和歌山 静岡 全国	493,000

海の子プロジェクト  
自然体験学習事業

## ネイチャースクール



### 小中高生・海と生きものフォトコンテスト

新型コロナウイルス感染拡大のため

**中止**

協賛：株式会社オリンパス



# 海洋ごみプロジェクト

## ● 海洋ごみ写真企画展 「海洋ごみについて考えよう」

写真パネル22枚とごみ標本の展示  
開催：板橋区立リサイクルプラザ

1月予定を変更(コロナ)  
3月2日～3月31日に開催



## ● 海洋ごみ 企画展 連動講演 「海洋ごみについて考えよう ～今、海で起こっていること～」

1月17日(日)オンライン講演  
会場：板橋区立リサイクルプラザ



# 海洋ごみプロジェクト

## ● 学習教材 写真パネルの貸出

	貸出先（学校・団体・法人）	イベント・プログラム名、授業内容等
1	トヨフジ海運株式会社	環境月間企画「海洋汚染について」 6月
2	NPO法人海の自然史研究所	海のビジターセンター展示 7月
3	大阪市立東三国小学校	総合学習 9月
4	トヨタモビリティ東京 株式会社	寄付型自動販売機設置イベント 10月
5	練馬区環境清掃推進連絡会	「環境研修会」 2021年3月

貸出先:5団体



# 海洋ごみプロジェクト

- パラオ共和国  
海洋ごみ回収活動をサポート  
クラウドファンディングの実施(日本国内で支援)  
145万円の活動費を確保(179万円)



# サンゴ調査プロジェクト モニタリング調査&魚類調査

## ◆各調査地と参加者数

- ①竜串 2名
- ②串本 3名
- ③沖ノ島 5名
- ④坂田 4名
- ⑤壱岐 4名
- ⑥対馬 4名
- ⑦田子 3名
- ⑧安良里 4名
- ⑨天草 2名
- ⑩五島 4名

合計 延35名

# 保全のための調査

3月24日25日

五島・多々良島 オオスリバチサンゴ調査実施

サンゴ調査  
プロジェクト  
調査研究事業

保全のための調査  
オオスリバチサンゴ調査



●コアサンプル採取のためのボーリングの様子 写真：高砂淳二

# 干潟保全プロジェクト

- 江奈湾干潟：観察会・ごみ回収活動/干潟生物調査
- 干潟ネットワーク調査：ゆかし潟/御前崎調査
- 全国多毛類調査への協力

# 江奈湾干潟保全活動

## ● 観察会・干潟生物調査/ごみ回収活動

①6月6日 状況把握のため現地訪問  
参加者:4名

②6月20日 観察会・多毛類調査  
参加者:7名

③7月19日 干潟生物調査 **荒天中止**  
9月5日に延期

●9月5日 干潟生物調査  
参加者:16名(日大生物資源学部 5名)

④2月13日 **ゴミ回収活動⇒コロナ拡大で中止**

⑤3月13日 **ゴミ回収活動⇒コロナ拡大で中止**

3回開催 延参加者数:27名



記録種 85種以上  
RD種 20種以上

# 干潟調査

## ● 干潟ネットワーク調査 ～干潟間の繋がりを調べる～

黒潮流路に沿った各地の干潟と  
干潟生物の関係を調べる調査



# 干潟ネットワーク調査～ゆかし潟干潟～

## ● ゆかし潟干潟調査

7月4～5日(1日半の調査) 延21名

記録種 122種以上  
RD種 28種以上

# 干潟ネットワーク調査～御前崎干潟～

## ● 御前崎干潟調査 7月24～25日 延15名



記録種 80種以上  
RD種 20種以上

# 干潟調査

## ● 多毛類調査への協力

日本各地の干潟から多毛類を採集してDNA解析し、絶滅危惧種の特定や分類の整理、分布情報の集積、多毛類の同定ガイド作成  
(2020年から3年間)



岩手医科大学 阿部博和さん



## 会報「季刊 エブオブ」の発行

- **4月20日発行(春号) Vol.77**  
特集:「食卓から青のりが消える？」  
執筆:平岡雅規(高知大学)
- **8月20日発行(夏号) Vol.78**  
特集:「海鳥類の保全に取り組む」  
執筆:長谷川博会長
- **11月20日発行(秋号) Vol.79**  
特集:「干潟のカニからみた生態的特性の多様性」  
執筆:和田恵次(奈良女子大学)
- **2月20日発行(冬号) Vol.80**  
特集:「原発の温排水がもたらす局所的温暖化」  
執筆:益田玲爾(京都大学)



# ホームページリニューアル

## ●HPリニューアル(2月公開)



特定非営利活動法人 OWS

メールニュース | メンバー登録 | お問い合わせ

HOME

- OWSについて
  - OWSの考え方と使命
  - 組織概要
  - 事務局のご案内
  - 事務局ブログ **更新中**
- OWSの普及啓発活動
  - OWSシリーズプログラム
    - 海のトークセッション
    - 海辺の自然教室
    - ネイチャースクール
    - 海のセミナー
    - OWS 5人の写真展
    - 未来に残したい海
  - 海洋ゴミ問題を考える
  - ネイチャーガイド養成コース
- OWSのプロジェクト
  - 造礁サンゴ調査プロジェクト
  - アンガウル州立自然公園プロジェクト **終了**
  - 北西ハワイ諸島・ミッドウェープロジェクト **終了**
- ご支援・ご協力のお願い
  - メンバー募集
  - ボランティア募集
  - 募金・寄付のお願い
  - メンバーからのメッセージ
- 学校・企業・団体の皆様へ
  - スポンサー登録

**海**は地球と人類を含む生き物たちの未来にとってかけがえのない存在です。

OWSは、海をとりまく自然とそこにすむ生きものたちを通して、**「自然に親しむ、自然を学ぶ、自然の大切さを伝える」**活動を展開しています。私たちが親しんできた海を未来につなげていくために、できることから始めませんか？

新型コロナウイルスの感染拡大防止および緊急事態宣言発令に伴い、4月9日（木）より在宅勤務にて対応しています。当面の間ご連絡はお問い合わせフォームまたはメールにてお願いいたします。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

**OWSの活動 参加者募集・新着情報**

OWSのプログラムは、海を知る、学ぶ、ふれあう機会を作ります。お気軽にご参加ください。

**「江奈湾干潟観望会&ゴミ回収活動」参加者大募集** 2020年4月11日（中止）

長谷川博会長のオキノタユウ（アホウドリ）調査「鳥島から」第17回報告（2018年11月～12月期調査報告） **最終回**

ダイバーのための水中ゴミ回収グッズ「エコメッシュ」再入荷しました。2000円の募金をお願いします

**メンバー募集中**  
サポーター登録はひと月当たり500円から **あなたのご支援が必要です**



委員ログイン | 会員ページ | お問い合わせ

OWS 海の環境NPO法人 OWS

OWSについて | OWSの活動 | OWSを応援する | OWSに携わる | 活動BLOG

海の自然を未来に  
親しむ・学ぶ・大切さを伝える

❶ お知らせ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当面の間、11:00～16:00の時短開所とさせていただきます。ご連絡はお問い合わせフォームまたはメールにてお願いいたします。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

スマホ対応に

# 世界アルバトロスデー&シーバードウィークの取組み

## ● イベント会場

都立東京港野鳥公園 ネイチャーセンター

## ● イベント内容 6月15日～20日

- ◆ 講演 6名
- ◆ 写真、資料の展示(鳥島:長谷川会長)
- ◆ 賛同団体によるポスター展示(5団体)
- ◆ アルバトロス類の写真展(一般投稿)
- ◆ ビデオ映像の視聴など

### ◆ 実行委員所属団体

日本野鳥の会

NPO法人OWS

バードライフ・インターナショナル東京

NPO法人小笠原自然文化研究所

NPO法人リトルターン・プロジェクト

山階鳥類研究所



新型コロナウイルス感染拡大  
により、会場でのイベント開催  
は中止！



● オンライン講演(6/19)のみ実施  
参加者100名(満席)

## 協賛・協力いただいた企業・団体



### <助成・活動協賛>

#### 【活動協賛】

◆株式会社 オリンパス

干潟保全・調査活動全般(カメラ機材提供)

#### 【活動・協力】

◆国立環境研究所 オオスリバチサンゴ調査

◆スキューバプロアジア 株式会社 エコメッシュ提供

### <業務受託>

◆国立環境研究所 造礁サンゴモニタリング調査

◆国立環境研究所 魚類調査

### <寄付・募金>

◆リコージャパン 株式会社

◆株式会社 東京マツシマ

◆トヨタモビリティ東京 株式会社

◆聖心女学院

### <OWS法人賛助会員(スポンサー)>

●株式会社ピクルスコーポレーション

●高砂写真事務所

●株式会社フィットクルー



## 2021年度の活動予算

事業名	事業内容	実施日	実施場所	支出額(円)
自然体験学習事業	子ども対象ネイチャースクールの開催(磯海岸)2回 親子対象ネイチャースクールの開催(干潟)	6月 7月	関東 関東	492,350
普及啓発事業	会報「季刊 エブオブ」の発行 学習教材パネル(海洋ごみの写真パネル)の貸出 海洋ごみをテーマとした写真展の開催 講演「海洋ごみを考える」の開催 「減プラスチックNGOネットワーク」活動への参加	年4回 随時 随時 随時 随時	全国 全国 全国 全国	504,890
調査研究事業	造礁サンゴモニタリング調査(国立環境研究所受託) 魚類調査(国立環境研究所受託) 造礁サンゴ探索調査(千葉・壱岐)	10~2月 10~2月 10~11月	全国 全国 関東・長崎	4,490,000
環境保全協力事業	江奈湾干潟保全活動(観察会・ごみ回収活動) (3~4回実施) 江奈湾干潟生物調査 干潟ネットワーク調査(紀伊半島・ゆかし潟)2回開催	5~3月 5月 7~8月	関東 関東 和歌山	813,250